

3セク3社決算

工夫凝らし安定経営へ

市内の第3セクター3社がこのほど、定時株主総会を開催しました。昨期の事業や決算を報告し、今期の事業計画などを決定。3社それぞれ工夫を凝らし、安定経営に取り組みます。

水夢―あやべ健康プラザ

空調改善で快適環境へ

青野町のあやべ健康プラザを運営する水夢（山本雄史社長）は5月24日、定時株主総会を開催。経常利益694万円、純利益550万円、3期ぶりの黒字を報告しました。

の平均会員数は前期比45人増の1401人となりました。今期も、顧客ニーズの多様化に合わせたサービスで期中の平均会員数1430人を目指します。さらに、快適な利用環境を提供するため空調設備を更新し、引き続き会員の健康サポートを行います。

新型コロナウイルスによる行動制限や運営規制などで厳しい状況が続いていましたが、5000円で施設を4回利用できる「あやべ健康プラザお試しチケット」などの新たな取り組みを実施。また、ジュニアオリンピック（水泳）に2人が出場したことで認知度が高まり、期中



④キャンプ場に車が乗り入れできるよう整備し、利用客の利便性を向上⑤ヒノキの香りと大自然の景色が楽しめる二王の湯（露天風呂）

緑土―あやべ温泉

利便性高め集客力を向上

陸奥町のあやべ温泉などを運営する緑土は5月21日、定時株主総会を開催し、純損失2801万円を報告。また、同日付で仲久保政司氏が代表取締役役に就任しました。

昨期は、令和3年度に市が作成した経営改善計画に基づき、9月末をもって宿泊と宴会事業を休止。また、レストランをセルフ方式に変更するなどして人員整理を行い、経営改善に努めました。一方で、燃料や原材料費の高騰の影響を受け、2期連続の赤字決算と



①ジュニアオリンピック出場選手を輩出したスィミング選手コース②5月24日、青野町のあやべテラス・ホールで開催した20周年記念式典③スタジオでは、初心者でも楽しめるヨガやピラティスなどを実施



なりました。今期は経営陣のうち、これまで4人だった常勤取締役を1人に削減。さらに、キャンプ場内の通路整備により利便性を高め、集客力の強化を図ります。新型コロナウイルスの影響が和らぎ、入客数は回復の兆しがあるものの、引き続き厳しい経営環境が予想されます。今後も観光振興と東部地域の活性化に寄与するため、戦略的な経営改善を推し進めます。



市民の暮らしに寄り添い、地域に密着した放送を実施

エフエムあやべー76・3FM

AIを活用し情報発信

コミュニティラジオ局「FMいかる」を運営するエフエムあやべ（井関悟社長）。6月14日に定時株主総会を開催し、経常利益181万円、純利益127万円で14期連続の黒字を報告しました。

昨期は、新型コロナウイルスの5類への移行などにより、日常生活への回帰が進んだ1年に。ラジオ番組を

絡めたイベントやコロナ禍で定着したイベントの配信事業が増加しました。

昨年8月の台風7号災害発生時には、夜を徹して災害情報を提供。また、災害ボランティアセンターに職員を派遣し、2週にわたり災害放送を実施しました。今期はニュースや天気予報でA



昨年の台風7号では、ボランティア活動を行いながら、現地取材

Iアナウンサーの導入検討や外部人材の活用によるスキルアップの取り組みを実施。災害や地域密着型の放送に加え、映像制作やイベント企画など、地域に必要とされる事業を展開します。

安心して暮らし続けるためにー

成年後見支援センターを開設

成年後見は、認知症や障害などで判断能力が低下しても、安心して本人らしい生活が続けられるよう、権利を守り、保護・支援するための制度です。市は6月、市役所地域包括支援課と川糸町の福祉ホール内（運営：市社会福祉協議会）に成年後見支援センター「こうけん・あやべ」（愛称）を開設。相談窓口を明確化し、利便性の向上を図ります。



まずは相談を
こうけん・あやべでは、制度の利用に関する相談などを随時受け付けています。困りごとや不安がある人は、地域包括支援課（42）4262または同協議会（43）2881へ。

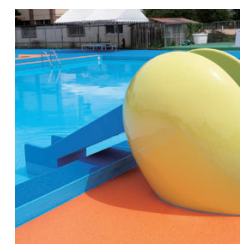
財産管理や契約を支援
成年後見人等（成年後見人、保佐人、補助人）は、本人の思いを尊重しながら意思決定を支援し、金銭や不動産などの「財産管理」と、施設入所の契約や福祉サービスを受けるための手続きといった「身上保護」を行います。

市内で約80人が利用
市では現在、約80人がこの制度を利用していますが、高齢化を背景に、利用者は今後も増加する見込みです。これまでも、市と社会福祉協議会とは、それぞれ成年後見制度を必要とする人へ支援を行ってきました。今回のセンター設置により、連携をさらに充実。今後は、司法関係者や金融・医療機関などとも連携を深め、住み慣れたまちで安心して暮らせるまちづくりを進めます。

幼児用プールに滑り台を新設
同プールの改修では▽プール槽とプールサイドのシートの張り替え▽循環配管やろ過機の交換▽多目的更衣室の設置ーなどを実施。プール進入路には看板を新設し、幼児用プールには滑り台を新設しました。総事業費は約1億3800万円です。
同プールには、25歳と50歳、幼児用の3つのプールがあります。シーズン中は、子どもたちをはじめ多くの市民らでにぎわう施設。開設から約50年が経過し、老朽化が進んでいたため、昨年9月から本年3月まで改修工事を行いました。一般利用は7月20日（土）～8月31日（土）。多数ご利用ください。
球速や打球数が表示可能
同スタジアムのスコアボードは、磁気反転方式からフルカラー

**プール
野球場**
大幅改修で魅力アップ！
市民プール（大島町）と、あやべ・日東精工スタジアム（あやべ球場、上杉町）のスコアボードの改修事業がこのほど完了しました。安全性や機能性を高め、スポーツ環境の充実を図りました。

LED方式に更新しました。新しいスコアボードの画面は高さ5・76m、幅19・2m。球速や打球数などを表示できるようになったほか、動画や「フライングプレイ」といったアニメーション画像も映し出せます。
旧スコアボードは、同球場が完成した平成12年から使用。老朽化に加え、修理時の交換部品の入手も困難になっていたことから昨年12月から7カ月かけて改修し、総事業費約2億円でリニューアルしました。



水が流れる小さな滑り台。安全に楽しく遊べます

インタビュー



市社会福祉協議会
荒川美佳さん 上田智康さん

専門職が連携して対応

これまでから、月1回の成年後見相談を開催するなど、独自の支援を行ってきました。現在は、法人として5人の成年後見業務も行っています。

今回のセンター設置で相談窓口が分かりやすくなっただけでなく、困りごとのある人の相談に対して専門職が連携して対応できる体制になったと感じています。判断能力が低下しても自分らしく生活が続けられるように、まずは成年後見制度を知っていただくことが大事です。ぜひ気軽にご相談ください。

センターの役割



①制度の周知・啓発
制度についての情報発信、研修会の開催などを行います。



②相談支援
本人、家族、関係機関などからの制度に関する相談に乗ります。



③申込者へのアドバイス
本人にふさわしい成年後見制度の利用に向けたアドバイスをします。



④後見人（親族など）の支援
成年後見人などからの相談対応や関係機関との連携により、後見人の活動を支援します。

スピードガン体験で球速競う



6月29日、スコアボードの完成を祝い、竣工式を開催しました。記念イベントとして実施したスピードガン体験会＝写真＝では、市内の少年野球や社会人野球チームの選手が球速を競い合い、新たな節目を盛り上げました。

中筋小児が初泳ぎ

市民プールを水泳の授業に利用している中筋小の5、6年生が6月11日、初泳ぎを楽しみました。児童らは、水をかけ合ったり潜ったりして、新しくなったプールで歓声を上げていました。



投票管理者・立会人を募集

市選挙管理委員会は7月から、期日前投票所の投票管理者・立会人を募集しています。公平・公正な選挙を行うため、皆さんの協力をお願いします。

期日前投票所に配置

今回の募集は、人口減や高齢化に対応し、幅広い世代に選挙に関心を持ってもらうことなどを目的に実施。応募のあった人を名簿に登録し、選挙ごとに投票管理者等に選任します。対象の期日前投票所は、上林いきいきセンター（八津合町）と物部管農指導センター（物部町）の2カ所。令和7年7月の参議院議員選挙から、導入する予定です。

投票管理者／投票所で、投票に関する手続き全般の最終的な決定権を持つ人。管理者向けの説明会への参加のほか、投票所や投票箱の開閉、投票録の作成などを行います。

投票立会人／投票管理者のもとで投票事務の全般に立ち会う人。

対象／綾部市の選挙人名簿に登録されている人

※投票管理者はさらに、①25歳以上②投票管理者か立会人の経験がある③の両方を満たす必要があります。

応募方法／申込書に必要事項を記入し、同事務局に郵送かファクス、メール、持参のいずれかで提出してください。申込書は、市ホームページ（ID4606）に掲載しています。ウェブフォームからの申し込みも可能。左のQRコードから申し込みください。

申し込みフォームはこちら



名簿への登録は、本人が辞退しない限り継続します。また、応募者多数の場合は、選任されないことがあります。詳しくは、同事務局 ☎(42)4229へ。

シリーズ 人権を考える

刑を終え出所した人の人権

社会復帰を阻む差別や偏見

近年の犯罪検挙者数のうち、再犯者が占める割合は4割を超えています。犯罪や非行を繰り返す「再犯」をいかに食い止めるかが、安全で安心して暮らせる社会づくりの大きな課題となっています。再犯を防ぐには、刑を終え出所した人の円滑な社会復帰が重要です。しかし、本人に更生意欲があっても、自身や家族への根強い偏見や差別で、住宅の確保や就業といった基本的な生活基盤が築けない場合があります。そして、こうした「生きづらさ」を背景に、再

犯罪のないまちづくりへ

7月は「社会を明るくする運動」の強化月間です。犯罪や非行のない地域社会づくりを目指す全国的な取り組みで、今年で74回目を迎えます。本市でも、保護司や更生保護ボランティアらが協働して、広報・啓発活動を展開しています。この機会に、犯罪や非行の防止と立ち直りについて考えてみませんか。

保護司って？

犯罪や非行をした人の更生を支え、再犯を防ぐ取り組みを行っているボランティア。市内では20人が活動しています。



善聞語録



不思議な縁

三重県鳥羽市、兵庫県三田市と綾部市、その共通点は…？
答えは「九鬼つながり」。ということでも両市の市長と先月、この縁を何らかの形にしようと話し合った。本市は足利尊氏誕生の地、また合気道発祥のゆかりで国内の複数の市町と連携しているが、新たな縁が加わることになるかと期待している。

九鬼氏のもとと鳥羽を本拠にして戦国時代に活躍した水軍の将、嘉隆は織田信長や豊臣秀吉に仕え、瀬戸内海を征服する村上水軍と幾度も戦いを交え、天下統一の一翼を担った。その後、秀吉の命で朝鮮に出兵し、天下分け目の関ヶ原合戦では親子が東西に分かれ、徳川家康についた子の守隆が家督を継ぐ。しかしながら守隆の三男と五男が家督を争い、時の将

軍家光の裁定により鳥羽から綾部（三男隆季）と三田（五男久隆）に藩督えを命じられたのが一六三三年。これは九鬼水軍を脅威に感じた幕府の恣意的な裁定とも言われるが、海のなない丹波綾部（二万石）と摂津三田（三万石）に移封された2人の思いは如何様であったか…。ちなみに綾部踊りは九鬼の殿様に米俵を運ぶ際の仕草を、また綾部太鼓は水軍の指揮を執る陣太鼓を源とする。
思いのままの関きながら、九鬼家からみた戦国時代の名立たる武将や戦を大河ドラマに仕立てるのも妙案かと…。本市が関係したNHK大河ドラマといえば過去に尊氏をモデルにした『太平記』（平成3年）と明智光秀を主人公にした『麒麟が来る』（令和2年）があるが、グンゼ創業者・波多野鶴吉と妻はなをモデルにしたNHK朝ドラ誘致とセットにして要望すれば実現へ途を拓くかもしれない。九鬼家の末裔家隆さんは現在、熊野本宮大社（和歌山県田辺市）の宮司を務めておられる。先般、この縁組みの件をお伝えしたところ大層喜ばれ、調印の場には是非とも立ち会いたいとの言葉もいただき、意を強くした。

山崎善也（綾部市長）

手話でつながろう

今月の手話

趣味



開いた右手を頬から顎へ動かしながら



握り下ろす

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

あやべっ子もぐもぐ通信

市内の全小・中学校の給食は、各学校で給食調理員が心を込めて作る自校調理方式。地域の農産物の使用や工夫を凝らした献立などで、安全・安心でおいしい給食を作っています。

しその香りが食欲そそる「鶏肉とポテトのしそから揚げ」



野菜の甘みとうま味がたっぷり「野菜たっぷりごまみそ汁」

6月19日(水)

6月は食育月間、毎月19日は食育の日です。減塩をテーマにした、しそから揚げは、下味を付けずに揚げて、しそふりかけを絡めました。みそ汁は、だしのうま味と具だくさんすることで、塩分控えめでもおいしく食べられる工夫をしています。

※写真は物部小学校。各学校の実情に応じてメニューをアレンジしています。